



事務局員の三ツ橋さん

志賀高原ユネスコエコパーク

志賀高原ユネスコエコパークとは

志賀高原はスキー場として非常に有名ですが、その中心部には火山と池、オオシラビソなどの針葉樹、高層湿原、ササ原などからなる植生景観が広がり、典型的な亜高山帯の自然を手軽に楽しめる貴重な地域となっています。

志賀高原一帯は1980年に、屋久島、白山、大台ヶ原、大峯山とともにユネスコエコパークに登録されました。志賀山を中心とした大沼池や四十八池を含むエリアは長期的な保護をする「核心地域」、それを囲むように奥志賀から万座にかけての広大な地域は、環境学習、エコツーリズムなど自然環境の保全を優先しながら利用する「緩衝地域」となっています。また2014年には、緩衝地域の外側にある里山が、持続可能な形で農業や生活を営む「移行地域」として新たに設定されました。

歩くおすすめコース

この志賀高原ユネスコエコパークの魅力が堪能できるお薦めのトレッキングコース2つを、志賀高原自然保護センターの事務局員の三ツ橋士郎さんに紹介していただきました。

①池めぐりコース
エコパークの「核心地域」をじっくりと堪能できるコースです。四十八池や大沼が



大沼池 (志賀高原観光協会提供)



志賀高原ユネスコエコパークの範囲 (志賀高原観光協会提供)

見どころとなっています。約10km、3～4時間の行程です。

②自然探勝コース

「核心地域」と「緩衝地域」の両方を楽しめるコースです。木戸池から蓮池に至る、約4km、2.5時間の行程です。

現在、志賀高原ではユネスコエコパーク内で、専門的な解説とともに安全管理も含めたガイドツアーが年間を通じて行われています。エコパーク内のガイドマップはわかりやすく作られているので迷わず歩くこともできますが、ガイドさんと一緒に学びながら歩くこともおすすめです。

(聞き手：須賀 丈)

ユネスコエコパークとは？

生物圏保存地域、Biosphere Reserves : BR) は、1976年にユネスコが開始しました。日本では、2010年からBRをユネスコエコパークと呼んでいます。この地域では、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としています。現在、国内には、志賀高原のほか8つの地域が指定されており、世界には120カ国669の地域があります。県内には南アルプスエコパークもあります。

◆関連情報

- ・志賀高原自然保護センターHP <http://shizenhogo-center.shigakogen.gr.jp/>
- ・ユネスコエコパークHP <http://mab.main.jp/>